

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 モンテカルロ  
 コード番号 7569 URL <http://monte-carlo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田映一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長 (氏名) 西田啓一

TEL 082-501-2077

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,682	△18.4	△26	—	△41	—	△48	—
23年3月期第1四半期	2,062	△14.2	△127	—	△144	—	△188	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △50百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △195百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△12.45	—
23年3月期第1四半期	△40.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第1四半期	6,581	5.7	374	5.7	5.7
23年3月期	6,828	6.2	424	6.2	6.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 374百万円 23年3月期 424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,743	△12.1	△50	—	△80	—	△91	—	△23.86
通期	7,941	△11.3	175	—	110	—	88	—	6.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	4,992,523 株	23年3月期	4,992,523 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	6,652 株	23年3月期	6,652 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	4,985,871 株	23年3月期1Q	4,985,871 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実地中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 種類株式の配当の状況

### 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第1回A種優先株式	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	0	00	—	—	0	00	0	00
24年3月期	—	—								
24年3月期(予想)			0	00	—	—	—	—	—	—

(注) 現時点において平成24年3月期における期末配当予想額は未定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復を背景に個人消費に一部持ち直しの兆しが見えつつありましたが、東日本大震災による生産活動の低下や輸出の減少、消費の自粛ムード等により、小売業にとっては厳しい経営環境となりました。今後につきましても、円高やデフレの進行もあり先行きに対する不透明感は根強く、小売業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

カー用品業界におきましては、震災の影響によるナビゲーション等のカーエレクトロニクス商品（以下、カーエレ商品）の供給不足により一時的に同商品群の売上減少があり、一方でタイヤの値上げと地デジ化移行に伴う駆け込み需要等の押し上げ要因もありました。しかしながら消費者の節約志向と低価格志向は強く、販売単価の低下傾向は続いており、全体的には厳しい環境で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、前期第4四半期に実施しました不採算店舗の閉鎖や不採算事業の撤退・縮小等の事業構造改革の成果を実現するために、お客様に選ばれ満足される企業を目指し、収益体質強化策と地域密着型経営を徹底してまいりました。

具体的には、経費管理の徹底等により更なるコスト削減施策を行うとともに、販売・営業面では利益率向上施策を徹底しました。

小売部門では、重点販売部門としてタイヤ販売と車検・ピットサービスに注力しました。タイヤ販売では冬期に依存しない各月の底上げによる実績上積みを図るとともに、車検・ピットサービスでは、指定工場の光速王を頂点とする車検事業の体制構築により、ほぼ全店舗での車検受付を実施することとなりました。また前期導入したボディーコーティングも一層の拡大強化を図ります。卸売部門では、収益性重視施策による販売先の選別と重点得意先への営業強化を実施してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、連結売上高は店舗閉鎖等により減収となり16億82百万円（前年同期比3億80百万円減）、営業損失は事業構造改革による大幅な販売費・一般管理費の減少と売上総利益率の改善があり26百万円（前年同期は1億27百万円の営業損失、前年同期比1億1百万円の改善）、経常損失は41百万円（前年同期は1億44百万円の経常損失、前年同期比1億2百万円の改善）、四半期純損失は48百万円（前年同期は1億88百万円の純損失、前年同期比1億39百万円の改善）となりました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

#### ①自動車用品の小売事業

小売事業につきましては、店舗の閉鎖による売上減少、震災の影響によるカーエレ商品の品薄による機会ロス、主力商品の販売単価の低下等がありましたが、注力したタイヤ販売が値上げ前の駆け込み需要により好調に推移し、また地デジ化移行に伴う地デジチューナーやカーナビゲーション等の需要増もあり、売上高は前年同期比2億28百万円減収の12億3百万円となりました。

#### ②自動車用品の卸売事業

卸売事業につきましては、収益性重視策による販売先選別、カーエレ商品の品不足による売上減等があり、売上高は前年同期比69百万円減収の2億77百万円となりました。

#### ③フランチャイズ事業

フランチャイズ事業につきましては、値上げ前の駆け込み需要を捉えたタイヤ販売の強化と加盟店の経営努力により、カーエレ商品の落ち込みを補い、売上高は前年同期比16百万円減収の1億34百万円となりました。

#### ④その他事業

その他事業につきましては、車検・整備事業の光速王は好調に推移しましたが、事業構造改革により縮小・撤退した車両販売事業Fシステムと携帯電話販売事業のソフトバンクサイトで売上減少となり、その他事業の売上高は、前年同期比65百万円減収の67百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は31億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億16百万円減少いたしました。これは主に、未収入金が2億73百万円減少したことによるものであります。固定資産は34億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が17百万円減少したこと及び敷金及び保証金が9百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は35億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少いたしました。これは主に、未払金が58百万円減少したこと及び未払消費税等が45百万円減少したことによるものであります。固定負債は26億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて82百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が73百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3億74百万円となり、前連結会計年度末に比べて50百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失48百万円を計上したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1億5百万円増加し、当第1四半期連結累計期間末には13億68百万円（前年同四半期は11億66百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1億51百万円（前年同四半期は1億1百万円の獲得）となりました。これは主に仕入債務が2億52百万円増加したこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は69百万円（前年同四半期は1億4百万円の獲得）となりました。これは主に、敷金・保証金等の回収による収入が74百万円となったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は1億15百万円（前年同四半期は2億79百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済が77百万円となったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸高を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## ③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,264,558	1,370,133
受取手形及び売掛金	356,003	258,260
加盟店貸勘定	75,709	54,519
商品及び製品	1,254,004	1,346,039
原材料及び貯蔵品	4,055	3,971
その他	422,244	126,774
貸倒引当金	△2,657	△2,450
流動資産合計	3,373,918	3,157,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	741,652	727,909
土地	1,476,304	1,476,304
その他(純額)	71,685	67,746
有形固定資産合計	2,289,643	2,271,961
無形固定資産		
投資その他の資産	21,049	20,608
敷金及び保証金	1,013,887	1,004,697
その他	130,834	127,851
貸倒引当金	△717	△717
投資その他の資産合計	1,144,003	1,131,832
固定資産合計	3,454,696	3,424,401
資産合計	6,828,615	6,581,649
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	587,890	623,389
短期借入金	2,757,546	2,715,516
未払法人税等	19,026	5,101
繰延税金負債	450	846
賞与引当金	23,881	10,572
ポイント引当金	17,769	18,053
その他	225,722	144,370
流動負債合計	3,632,285	3,517,850
固定負債		
長期借入金	2,499,943	2,426,749
リース債務	6,969	6,433
退職給付引当金	229,211	221,179
負ののれん	2,878	2,830
資産除去債務	4,000	4,000
その他	28,404	27,746
固定負債合計	2,771,406	2,688,939
負債合計	6,403,692	6,206,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	33,270	33,270
利益剰余金	△199,221	△247,645
自己株式	△1,345	△1,345
株主資本合計	432,703	384,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,780	△9,419
その他の包括利益累計額合計	△7,780	△9,419
純資産合計	424,923	374,860
負債純資産合計	6,828,615	6,581,649



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,062,980	1,682,457
売上原価	1,397,666	1,055,149
売上総利益	665,313	627,307
販売費及び一般管理費	793,216	653,572
営業損失(△)	△127,903	△26,265
営業外収益		
受取利息	2,193	1,932
受取配当金	877	736
受取手数料	6,075	5,668
受取賃貸料	3,594	5,150
協賛金収入	115	500
その他	5,769	2,907
営業外収益合計	18,625	16,895
営業外費用		
支払利息	34,088	32,416
その他	1,213	80
営業外費用合計	35,302	32,496
経常損失(△)	△144,580	△41,866
特別損失		
固定資産除却損	0	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32,498	—
特別損失合計	32,498	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△177,078	△41,869
法人税、住民税及び事業税	7,045	6,158
法人税等調整額	3,941	396
法人税等合計	10,987	6,554
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,066	△48,423
四半期純損失(△)	△188,066	△48,423

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,066	△48,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,264	△1,639
その他の包括利益合計	△7,264	△1,639
四半期包括利益	△195,331	△50,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,331	△50,063
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△177,078	△41,869
減価償却費	20,702	18,703
負ののれん償却額	△47	△47
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32,498	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,081	△206
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,572	△13,309
ポイント引当金の増減額(△は減少)	295	283
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,069	△8,032
受取利息及び受取配当金	△3,070	△2,668
支払利息	34,088	32,416
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	2
売上債権の増減額(△は増加)	106,692	112,781
たな卸資産の増減額(△は増加)	△50,555	△91,950
仕入債務の増減額(△は減少)	243,861	252,667
その他	△49,290	△61,202
小計	162,680	197,567
利息及び配当金の受取額	3,070	2,668
利息の支払額	△36,012	△32,261
法人税等の還付額	—	2,809
法人税等の支払額	△28,444	△18,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,293	151,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,310	△1,496
敷金及び保証金の差入による支出	△779	△3,133
敷金及び保証金の回収による収入	108,783	74,036
貸付けによる支出	—	△48
貸付金の回収による収入	30	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,724	69,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	305,010	△37,720
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△75,405	△77,504
その他	—	△536
財務活動によるキャッシュ・フロー	279,605	△115,760
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	485,622	105,575
現金及び現金同等物の期首残高	680,723	1,262,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,345	1,368,133

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	F C 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,432,135	347,000	151,307	1,930,444	132,535	2,062,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,553,760	—	1,553,760	19,377	1,573,138
計	1,432,135	1,900,761	151,307	3,484,205	151,912	3,636,118
セグメント利益又は損 失(△)	△45,870	△9,642	7,137	△48,375	13,070	△35,304

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、車検事業、自動車販売事業、携帯電話販売事業、不動産管理事業及び貴金属買取事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△48,375
「その他」の区分の利益	13,070
セグメント間取引消去	6,407
全社費用(注)	△99,006
四半期連結損益計算書の営業損失	△127,903

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	F C 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,203,428	277,161	134,402	1,614,992	67,464	1,682,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,252,049	—	1,252,049	19,095	1,271,144
計	1,203,428	1,529,211	134,402	2,867,042	86,559	2,953,601
セグメント利益又は損 失(△)	37,016	△10,327	7,508	34,198	20,365	54,563

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、車検事業、自動車販売事業、不動産管理事業及び貴金属買取事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	34,198
「その他」の区分の利益	20,365
セグメント間取引消去	5,517
全社費用(注)	△86,345
四半期連結損益計算書の営業損失	△26,265

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。